

2024年6月5日

各位

株式会社 I H I
東京都江東区豊洲三丁目1番1号

ISS社の議決権行使助言に対する当社の見解について

当社が、2024年6月26日開催予定の第207回定時株主総会に上程する「第2号議案 取締役12名選任の件」(以下「本議案」)につきまして、議決権行使助言会社の Institutional Shareholder Services Inc. (以下「ISS社」)が候補者番号1の満岡次郎氏および候補者番号2の井手博氏の選任に反対を推奨する旨のレポートを発行いたしました。

ISS社は反対推奨の理由として、当社が定める業績に関する基準を下回っていることを挙げております。

ISS社の反対推奨レポートに対しまして、下記のとおり、当社の見解を説明させていただきます。株主の皆さまには、当社定時株主総会招集ご通知および当社見解をご確認いただき、当該議案へのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. ISS社の反対推奨について

ISS社は、取締役選任議案につきまして、過去5年のROEの平均が5%未満かつ改善傾向に無い場合は、当該企業のトップに対して反対推奨する旨を、議決権行使のポリシーとして定めております。

当社の、2024年3月期の連結業績は、営業利益は701億円の損失、親会社の所有者に帰属する当期利益は682億円の損失であり、当期のROEはマイナスの16.9%、過去5年のROEの平均は下表のとおりISS社が定める基準を下回ります。

FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	過去5年平均
2.8%	4.5%	19.3%	11.0%	-16.9%	4.14%

一方で、PW1100G-JMエンジンに関する追加検査プログラムによる影響および海外子会社における訴訟の和解合意による損失という一過性の要因を除外いたしますと、当期の営業利益は過去最高の1,042億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は718億円、ROEは15.2%となります。

また、2025年3月期の連結業績見通しは、航空・宇宙・防衛事業領域における需要拡大のほか、その他の事業においても収益性の改善に取り組み、営業利益は過去最高の1,100億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は600億円となる見込みです。

以上のとおり、当期は一過性の要因により一時的な損失を計上することとなりましたが、当社としての稼ぐ力は着実に向上しており、今後の持続的な成長を実現できるものと考えております。

以上

(本件に関する問い合わせ先)

総務部文書グループ

03-6204-7040